

発達障害のあるお子さんは、
本人の困り感が周囲に理解されにくく、
誤解されたり、ふざけていると
思われたりしがちです。

その行動の原因が何であるのか、
保護者や学校、関係機関が連携しながら考え、
一人ひとりにあった支援を
していくことが大切です。

1 学校では発達障害のあるお子さんが安心して
学校生活を送るために、お子さんの状態に応じ
て、可能な範囲で学ぶための環境づくりを行っ
ています。

2 小学校に入学するときに、苦手なことや配慮して
ほしいことなど伝えたいことがあるときは、
「就学支援シート」を活用することができます。
教育委員会学務課等で配布しています。

3 必要に応じて特別支援教室など、個別の支援に
つなげています。学校生活で心配なことが
あったら、学校に相談しましょう。



お子さんの発達について お気軽にご相談ください

台東区の相談窓口

教育相談(教育支援館)	☎5246-5855
就学相談(学務課)	☎5246-1416
令和5年4月1日から	☎5246-5838
松が谷福祉会館	☎3842-2673
台東保健所保健サービス課	☎3847-9497
浅草保健相談センター	☎3844-8172
日本堤子ども家庭支援センター	☎5824-2571
台東子ども家庭支援センター	☎3834-4497
寿子ども家庭支援センター	☎3841-4631

その他、各校の特別支援教育コーディネーターや
スクールカウンセラーにもご相談ください。

関連施設

東京都発達障害者支援センター	
ご本人が18歳以下の場合	☎6413-0231
ご本人が18歳以上の場合	☎6902-2082
東京都児童相談センター	☎5937-2317

このリーフレットについてのお問い合わせ

総合発達支援体制庁内検討会

事務局 松が谷福祉会館
所在地 台東区松が谷1-4-12
TEL 3842-2673



発行日 令和5年1月

発達障害を 知っていますか?

学齢版



発達障害を理解して
いただくために

 台東区

お子さんの様子で気になることはありませんか？

例 え ば …



相手の表情や気持ちを汲みとれず
コミュニケーションがうまく取れません。

「きちんと」「きれいに」
「ちょうどよく」等、
明確でない言葉の指示が
理解できません。



理解力はあるのに
漢字が覚えられない等
学習の一部が極端に
苦手です。

ちょっとしたことに
大きさに反応して
授業中に離席したり
教室を出たりして
しまいます。



発達障害には、早期発見・早期支援と地域の皆さんの理解が大切です



発達障害は見た目にはわかりづらく、周りの人たちには理解できない行動となっており、周囲の方々の正しい理解があれば、個性を伸ばし、自分の特性と付き合いながら生活していくことができます。

発達障害のあるお子さんは、障害の早期発見と適切かつ継続的な支援、周囲の方々の正しい理解があれば、個性を伸ばし、自分の特性と付き合いながら生活していくことができます。

発達障害は主に次のとおり分類されますが、同じ発達障害でもお子さんの個性や発達の状況、年齢、環境などによって目に見える困りごとはさまざまです。

自閉スペクトラム症 (ASD)

- こだわりが強い
- 相手の立場で考えられない
- 新奇場面や変化が苦手
- パターン化した行動
- 特定の音に対する過敏や物に対する不安 など

注意欠如多動症 (ADHD)

- 不注意
- 多動・多弁・集中が続かない
- 衝動的な行動 など

学習障害 (LD)

- 全般的な知的能力に問題はないものの、
- 読むことが苦手
 - 書くことが苦手
 - 計算することが苦手 など



その他

- 微細・粗大運動の
苦手さ など

※平成17年に施行された「発達障害者支援法」では、発達障害の早期発見、早期支援を国や地方自治体に義務付けるとともに、国民の理解、協力を求めています。